

(別紙2-1)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成 20年 12月 25日

【評価実施概要】

事業所番号	4270201967		
法人名	有限会社 ユニ		
事業所名	グループホーム パール針尾		
所在地	〒859-3451 長崎県佐世保市針尾東町2162-1 (電 話) 0956-58-4801		
評価機関名	特定非営利活動法人 医療・福祉ネットワークせいわ		
所在地	〒840-0015 佐賀県佐賀市木原二丁目6番5号		
訪問調査日	平成20年12月2日	評価確定日	平成21年1月19日

【情報提供票より】(平成20年 4月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 16 年 3 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤 14人, 非常勤 2人, 常勤換算	14.9人

(2) 建物概要

建物構造	木 造り		
	1 階建ての	1~1	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	15,000 円	その他の経費(月額)	15,000+実費 円
敷 金	有 (円)	(無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	200 円	昼食 300 円
	夕食	300 円	おやつ ー 円
	または1日当たり ー 円		

(4) 利用者の概要 (4 月 1 日現在)

利用者人数	18 名	男性 3 名	女性 15 名
要介護1	6 名	要介護2	3 名
要介護3	7 名	要介護4	2 名
要介護5	ー 名	要支援2	ー 名
年齢	平均 84.5 歳	最低 76 歳	最高 96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	針尾診療所、松永歯科診療所
---------	---------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

国道と高速道路入口とに接する位置に建つホームは、周辺を田畑に囲まれていることもあり、静かさが保たれています。共有スペースでは、職員をはじめ、ご利用の方々の笑みが満ちあふれ、おだやかに時が流れている雰囲気が感じられます。菜園で採れたものや手作り豆腐や化学調味料を極力使用しない食事を心掛けておられます。毎朝、職員より新聞の読み聞かせをされているという日課は、開設以降続けられているということであり、ご利用者と共に歩まれる姿勢の一面が強く感じられました。年と共に意志表現が少なくなっておられるということでしたが、人生の大先輩としてあらゆる手法で心をよみとり、意志の確認をする努力は続けていきたいという姿勢が強くうかがえました。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価結果を踏まえた改善が実現されています。 改善活動は、前回の外部評価結果に基づき、改善計画シートを作成し、改善課題を明確にした上で取り組まれています。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	スタッフ全員で評価に取り組み、課題の共有に努められています。 評価の意義について理解し、課題の共有化を目的にスタッフ全員で自己評価に取り組まれています。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	継続して開催され、内容の充実が図られています。 開催頻度については、2ヵ月に一回の開催が実現されています。会議内容については、外部評価の報告や行事及び活動報告や敬老会との合同開催など工夫を凝らした運営状況が議事録で確認できます。今後は内容の更なる充実によりサービスの質の向上につながる取り組みが期待されます。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	ご家族の意見の聴取に努め、運営に活かされています。 日常的な声かけのほか、家族会や意見箱の設置など、ご家族からの意見の聴取に努められています。ご家族の意見に基づく改善事例も確認でき、積極的な姿勢がうかがえます。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域行事への参加や地域との交流に努められています。 地域行事や清掃活動への参加の他、子ども達の体験学習の際のお風呂の提供など、地域で必要とされる活動や役割を担っていく努力が見受けられます。またホームの行事の際には備品や駐車場を貸出してくださるなど協力体制も築かれています。

(別紙2-2)

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念の共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	家庭的な環境と地域の中での「ゆっくり」「一緒に」「楽しく」といったホーム独自の理念を掲げ、実践に向けた取り組みが展開されています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は掲示され、日々周知が行われています。スタッフにも十分浸透していることが、ヒアリングやご利用者への接し方で確認できます。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入されており、運動会や清掃活動に参加されています。地域の子どもの体験学習の際にお風呂を提供した事例もあり、積極的に地域とのかかわりを持つよう努められています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回評価結果を活かし改善が行われています。今回の自己評価については、各人が昨年の自己評価や評価結果と比べ全体会で検討されたとの事です。当該制度の意義などについても、スタッフに浸透している状況でした。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、2ヵ月に1回開催されています。敬老会と併せて開催を企画されるなど、ホームを知っていただく工夫が見受けられます。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村とのかかわりは、ご利用者の個別の事例について相談するなど、サービスの向上のために協働されています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ご利用者の状況報告は面会時に、状況の変化については電話にて報告、相談が行われているとのことです。また、毎月の請求書に手紙や写真などを同封されています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置されており、家族会も行われており、個別に対応されています。事例としては夏祭り開催の際に綿菓子機をレンタルされたことなどが聴取できました。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	スタッフを含めホーム内は人間関係が良好のようで、離職者は少ないとのことです。また、常にユニット間の壁が感じられないように交流しながらの支援に努められています。管理者はスタッフが働きやすい環境づくりを心掛けられています。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修への参加については、事業所側が費用を負担されるなど受講しやすい環境にあります。受講後は、研修報告書を作成し、必要に応じてコピーを配布されるなどスタッフで共有する仕組みもあります。しかし、研修計画については確認できません。	○	今後は、スタッフ育成の面から、スタッフ一人ひとりの研修履歴等を把握した上での教育計画作成及び計画的な研修受講を期待します。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	隔月のグループホーム連絡協議会に管理者が主体となり参加されています。また、近隣のグループホーム開催の行事へご利用者とスタッフが共に参加もされています。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前にはご本人やご家族の状況に応じて訪問し、見学も実施されています。入居直後は家族との連絡を密にし、馴染まれるまで相談しながら対応されています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	料理、昔話、子育てなど、昔ながらの知恵を活かしたアドバイスを頂くことは多々あるとのことです。また、ご利用者から労いの言葉もよく頂くとのことです。訪問時にはご利用者に食事を褒めて頂き素直に喜ばれるスタッフの表情がありました。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で声かけを行い、しぐさ等も重要な要素と捉えて意向の把握に努めています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	本人やご家族等からの情報及びスタッフの気付きなどについて、全体会で話し合いが行われプランが作成されています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画については毎月評価され、原則として3ヵ月に一度、見直しが行われています。随時の見直しについても必要に応じて実施されています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご利用者やご家族の状況に応じて、通院介助や外部の美容室の利用、ふるさと訪問など柔軟な支援が行われています。入居前の馴染みの地域への買い物に付き添うケースも聴取できました。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医はご利用者等の希望により選定され、変更された場合でも、初回受診時にはご家族も同席されています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期対応は基本的に行わない方針とされており、入居時からご家族等への説明も行われています。		
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	言葉遣いや対応などご利用者のプライドに対する配慮は見受けられます。個人情報の漏洩防止などへの取り組みもうかがえます。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お風呂や起床時間、就寝時間、食事の時間など、ご利用者のペースを尊重した対応が行われています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	菜園では、大根・パプリカ・カブ・グリーンピース・トマトなどが栽培されており、ご利用者と一緒に収穫し、食されています。食事中は、スタッフが同じ食事を同じテーブルで食し、支援が必要なご利用者対応も行われています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は2日に一回で、曜日や時間帯が設定されています。ただし、ご利用者の希望に応じて設定時間外や別日でも対応されています。入浴されない日は足浴を実施されています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ご利用者の生活歴や習慣などの情報を活用され、洗濯物たたみ・食器拭きなどの役割や、手芸・折り紙・短歌会への参加などの楽しみごと、気晴らしの支援に努められています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ご利用者の状態や季節的な配慮のもと、食材の買い物などに、ご利用者と共に出かけられています。車椅子の利用はもちろん、自動車を活用した支援も行われています。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は施錠されることなく、ご利用者の外出は、見守りにより対応されています。安全面から玄関にはセンサーが使用されていますが、その音量には配慮されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の火災訓練を実施されています。近隣の消防署との連携も図られています。しかし、食料品の備蓄や災害時の必要品などの準備はまだ十分とは言えない状況です。	○	飲料水の備蓄や必要品の準備など様々な災害を想定した対策が必要です。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量や水分摂取量など必要に応じた個別対応が行われています。食事の量や形態についての個別対応も見受けられます。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用スペースには、ご利用者の手作りの作品が飾られています。また、壁には行事の際の写真が掲示されています。ご利用者はそれぞれの居場所で思い思いに過ごされています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室にはトイレが設けられています。持ち込み品には、特に制限を設けられておらず、ご家族と相談され馴染みのものを持ってきて頂くよう働きかけも行われています。		

※  は、重点項目。

※ WAMNET に公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票を添付すること。